

## 2023 年度労使関係研究協会活動計画

労使関係研究協会の 2023 年度事業については、労働講座、講演会、研修会など人を集める活動休止を継続する。広報活動を中心に、資料整理公開、PR 活動を行っていく。以降の活動は公益目的事業のあり方の検討を踏まえて見直していく。

### 1. 具体的な活動

#### (1) 労働講座の資料整理と PR 活動

労働講座（私の労働運動史を語る）は、原則として休止する。ただし条件が整えば実施することもある。

これまで9年間、28回開催してきた講座はDVDに記録してあるが、その文書化や紹介活動を継続して進める。

#### (2) 講演会、研究会、研修会の活動を当面休止

講演会、研究会、研修会等人を集める活動は当面休止することとする。ただし労働運動、労使関係に関する研究活動について、会員から要望があれば検討し、実現可能ならば企画・実施することとする。

#### (3) 関西支局の事務所閉鎖

関西支局は2023年4月末をもって事務所を閉鎖する。

#### (4) 広報活動

- ① ホームページはその都度、更新していく。
- ② 「情報」については年2回、1月と9月に発行する。

#### (5) その他

- ① 団体会員（労組）の基本調査を実施する。
- ② 大会の祝電、メッセージの送付、並びに各組織の機関紙誌等の収集を行う。

## 2. 一般財団法人日本労働会館の活動の一翼を担う

- (1) 友愛労働歴史館との連携を密に、活動を進めていく。
- (2) 「友愛会創立を記念する会」の事務局を、友愛労働歴史館と協力して進めていく。
- (3) 友誼団体との連携し、活動を進めていく。現在は連合、教育文化協会、政策研究フォーラム、核兵器廃絶・平和建設国民会議（KAKKIN）、民社協会、アジア連帯委員会（CSA）と連携している。